

☆合唱コンクールが開催されました☆

6月13日（土）に中学合唱コンクールが行われました。

生徒達は朝、昼、放課後、合間の時間を上手に使い、合唱コンクールに向けて練習を重ねてきました。

合唱コンクールはすべて実行委員の生徒達が運営を行いました。一つの行事を行う背景には入念な事前準備と多くの人の協力が不可欠であるということを感じたのではないのでしょうか。生徒たちにとって、きっと今後の糧になったと思います。

☆合唱コンクールの感想☆

行事ノートより中学3年生の生徒の感想をご紹介します。



今年の合唱コンクールでは、自由曲は「手紙～拝啓 十五の君へ～」、私は合唱委員をやりました。自由曲は、今年で私たちは15歳になるし、合唱コンクールから卒業ということですぐに決まりました。

今年は練習時間がとても短く、私は最初からかなり焦っていました。中間テスト最終日の放課後が最初の練習日であったにも関わらず、A組はほぼ全員が参加してくれました。A組は本当に熱心な人が多く、2週目は朝7時半練習開始だったのに、思っていた以上にたくさんの方が来てくれ、うれしかったです。途中、注意したことがなかなかおらず、いらいらしていたこともありましたが、当日の朝には万全の状態で行き臨むことができました。

本番ではみんな笑顔で歌うことを心がけました。今までで一番上手に歌えたと私は信じています。

中3Fと中3Dが本当にうまくて、正直聞いていてグランプリはとられたなと思いました。しかし見事学年賞をとることができて本当にうれしかったです！とりあえず田中先生の念願を果たすことができて良かったです。（笑）

今回の合唱コンクールで、A組が団結できたと思います。ほぼ毎日練習にきて頑張ってくれたA組のみんなに感謝しかありません。この2週間本当に楽しかったです！（A組 A.A.さん）



今年の合唱コンクールは今までで一番楽しく、また悔しい合唱コンクールでした。私は今年初めて合唱委員として臨みました。（去年の合唱コンクールの感想に来年こそは委員になる！と書いていたので本当に実現して良かったです（笑））B組は練習初日から多くの方が参加してくれて本当に嬉しかったです。みんなすごく協力的で、毎日帰りにもう一人の委員と「B組グランプリとれるんじゃない!？」って話していたほど、順調に進んでいました。どのクラスよりも早くたくさん練習したからこそ、何も賞がとれなかったのが悔しかったです。悔し涙が止まりませんでした。クラスのみんなに申し訳ない気持ちでいっぱいだったけど、終わった後プレゼントをくれたり、ありがとうって言ってくれた時は本当に嬉しかったです。私はあまり人前で話すようなことが得意ではないのですが、合唱委員になって本当に良かったと思います。

毎朝早起きをしてくれた母、合唱委員のSさん、パートリーダーの2人、指揮者、伴奏者と、B組のみんなに感謝しています。

直後は悔しかったけど今は悔いはありません。来年合唱コンクールがないのが悲しいですが、一番記憶に残る最高の合唱コンクールでした！（B組 M.M.さん）



私にとって合唱コンクールは2月から始まっていました。私は中1のころ合唱委員をやって合唱実行委員の存在を知り、「中3になったらクラスだけではなく全体をまとめることをしたい!」とっていました。合唱実行委員は中3が10人、中2が10人の20人から成っていました。合唱実行委員は思ったより大変でした。というか、合唱コンクールは生徒によって成り立っているのだなと改めて思いました。

まず去年の保護者の方のアンケートをすべて集計し、改善点を考え、今年からは減点制度を設けたり、ビデオ販売を行ったり、チケットの配り方を工夫したりしました。みんなに受け入れてもらっていたら実行委員として嬉しいです。また、実行委員長のNさん、副実行委員長のYさんはもちろん、皆しっかりしていただき話し合いがいつもテンポよく進んで楽しかったです。実行委員のみんな本当にありがとう!♡♡

そして、クラスの皆、私はあまり練習に参加できていなかったけれど、「お疲れ」など声をかけてもらえてうれしかったです。はじめはうまくいかないこともあったけれど、特にリハーサルの後からは合唱委員のおかげでみんながやる気になっていった気がします。

今回(というか3年間)何も賞はとれなくて少しくやしい気持ちはありました。でも皆で頑張っって合唱したこと、その事が一番大切な事だと思います。最後の合唱コンクールを引っぱってくれた合唱委員、指揮者、伴奏者、パートリーダー、そしてクラスみんな本当にありがとう!

これからもクラスの行事を楽しみたいです!

(C組 K.M.さん)



合唱コンクールまでの2週間、私たちは本当に練習を頑張りました。中3の今年、3回目となる伴奏をさせてもらえましたが、今年の曲「Story」はとても難しくて譜読みも大変でした。今年は妹も入学し、妹も自由曲の伴奏者になったので家ではピアノの取り合いです。2週間というのは本当にあっという間で、何とか伴奏も形となり、音楽の授業で厳しく指導されたりしている間にもう本番を迎えていました。

例年通り第1部が中1、第2部が中2、第3部が中3でしたが、妹のクラスは第1部の1番最初で私もとても緊張していました。家ではヘッドホンをして練習していたので初めて妹の伴奏を聴きましたが、本当に上手くて1人で号泣してしまいました。(笑)中1の合唱はとりあえずB組がうまくて感動しました。第2部はやはり中1とは1年違うだけあって全クラスうまくて中3がグランプリをとれるのか不安でした。

第3部。最初はA組で、とても声が出ていて中1、中2との差を感じました。今年私たちのD組は最後から2番目だったのでA組とE組が終わると裏で待機していました。本番が近づくにつれてどんどん緊張が高まり、手も震えるほどでしたが、みんなが笑わせてくれたので緊張がほぐれました。課題曲が始まり、やはり緊張して伴奏を忘れてしまいそうでしたが、歌い出すと笑顔で歌えました。手は自由曲の伴奏の1番最初の形にしていました(笑)(忘れそうだったので)。ステージの上からはたくさんの親たちと生徒たちが見えて、この人たちにD組の歌を届けたい、練習の成果を見てほしいという気持ちが強くなりました。伴奏している間の記憶はあまりありませんが、楽しく弾けたと思います。今年最後の合唱コンで、特に中3はみんな本気でやっていたので賞をとれるか不安でしたが、グランプリをとれて本当に嬉しかったです。

(D組 Y.K.さん)



“合唱コンクール実行委員長”これはこの数か月間、6月13日の本番を迎えるまで背負ってきた肩書きです。この肩書きはもちろん自分からすすんで得たものですが、想像以上に重く、大変なものでした。

合唱コンクールのために準備し始めたのは、平成27年に入ったばかりの1月頃。そこから約半年間、実行委員の中に誰も経験者がいない中、本番まで突っ走ってきました。要項作りからプログラム作成、仕事の割り振りに細かなルール決め。やるべきことはたくさんありました。不器用な私は初め、全てのことを自分1人で抱え込もうとしていました。1人で勝手に終わらせようとして、周りを混乱させてしまうこともありました。

ですがそんなとき、実行委員の子が「何か手伝えることない？」と聞いてくれたり、「あれやっといたよ。」と先回りして手伝ってくれたり、全面的に支えてくれました。本当に嬉しく有難かったです。本番直前もバタバタしていた私に気を遣い、自分達で進んで行動してくれて、どこまでも頼りがいのある素晴らしい仲間をもったな、と誇らしかったです。本番の日もスピーチ原稿をなくすなど最後までだめだめな委員長でしたが、最後までついてきてくれて、協力してくれて、本当に本当に感謝しかありません。この合唱コンクールの終わった後の達成感や感謝、また少しの喪失感の入り混じった気持ちは委員長という立場だからこそ感じられたものだと思います。この素敵な気持ちを合唱コンクール実行委員長という素敵な経験と共にずっと忘れずにいたいと思います。

(E組 M.N.さん)



泣いても笑っても最後の合唱コンクール。

私達中3FはFinal FIGHTeeeeNS(最後の戦いに挑むティーンズ?)をスローガンとして臨みました。私は合唱委員として、何としてでも皆をグランプリへと導きたい気持ちが強くありました。しかし、クラス全体の歯車を滑らかに回し、優勝へ進んでいったのはクラスのみならず自身でした。実際、たった2人の合唱委員とは元々とても無力です。いくら頑張っても、他の人の協力が無ければ40人を1人残らず動かすことなど不可能です。「真面目に練習に励もう」と思って、やっと合唱委員は機能します。しかし、それだけでも足りません。2週間早起きし、部活を我慢し、それでも優勝したいというみんなの粘り強い意志がグランプリへの鍵となりました。

本番の前日は、円陣を組んで心を1つにしました。私はこの時、「グランプリを逃して皆の努力を裏切るわけにはいかない」と思いました。それだけ、皆の円陣を組んだ時の声がかたく、勝ちたい意志が感じられたからです。後は今までの成果を発揮できるようにと祈るしかありませんでした。そして本番はあっという間に過ぎました。頭が真っ白で覚えていないのですが、発表が終わってしばらくは、自分の出席番号を忘れるくらい理性を失っていました。

待ちに待った結果発表。グランプリが2クラスあると聞いた時は正直びっくりしましたが、自分のクラスが呼ばれた瞬間は嬉しすぎて涙が止まりませんでした。

私達の最後の合唱コンクールは優勝で飾られ最高の思い出となりました。中3Fの皆には感謝しかありません。本当に本当にありがとう!!大好き!!

(F組 W.T.さん)



